販売用資料

先進国資産配分コントロールファンド＜成長型＞
【愛称：コア成長】 四半期レポート

2026年7-9月

ちゅうぎんフィナンシャルグループ
中銀アセットマネジメント

登録番号 金融商品取引業者　中国財務局長(金商)第10号
加入協会 一般社団法人 資産運用業協会

作成基準日：2026年9月30日

基準価額の推移（設定来）

ちゅうぎんフィナンシャルグループ
中銀アセットマネジメント

コア成長の基準価額推移（単位：円）

※期間：2016年4月28日～2026年9月30日（日次）
※基準価額（分配金再投資）は税引前の分配金を再投資したものとみなして算出。

※18ページの「ご注意事項」を必ずご確認ください。

Ⅰ 2026年7-9月の**投資環境**

Ⅱ 2026年7-9月の**資産配分と基準価額の推移**

Ⅲ 2026年10月以降の**見通し**

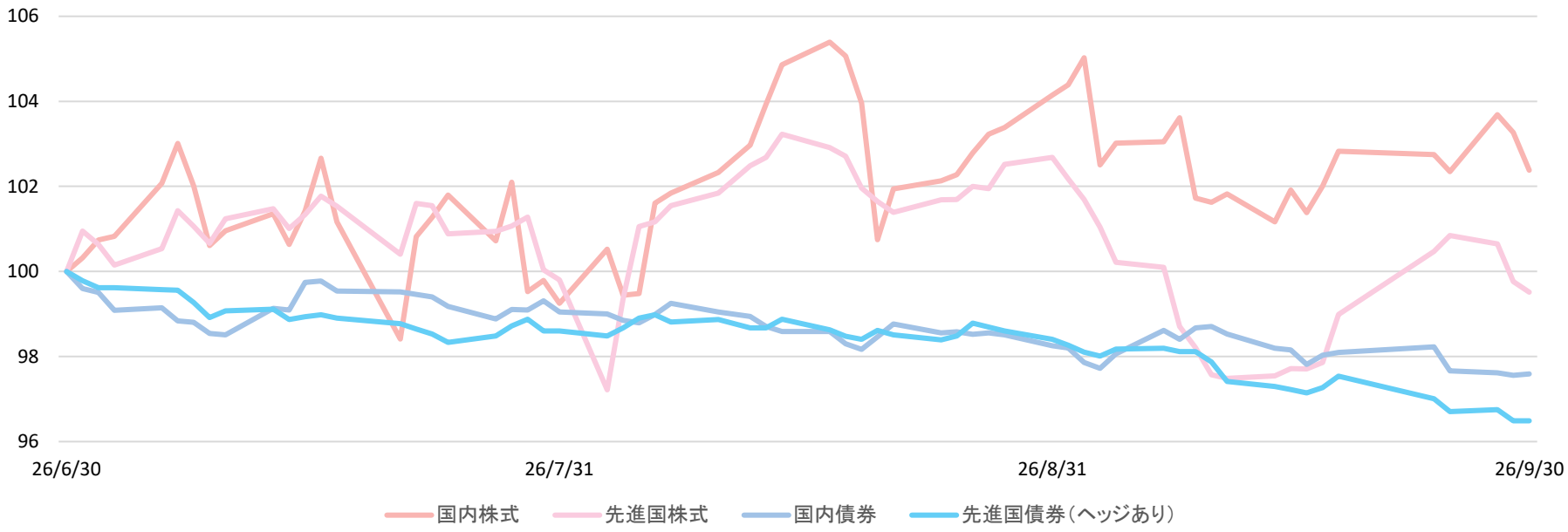
※18ページの「ご注意事項」を必ずご確認ください。

Ⅰ　2026年7-9月の投資環境

ちゅうぎんフィナンシャルグループ
中銀アセットマネジメント

- 2026年7-9月は、中東情勢の悪化によるエネルギー価格の上昇を受け、今後のインフレ懸念からFRB（米連邦準備制度理事会）やECB（欧州中央銀行）の利上げ観測が高まり、日本を含めた各国の長期金利は上昇しました。株式市場については、エネルギー価格の高止まりが嫌気された米国は下落しましたが、日銀の早期利上げ観測を背景に銀行株が買われた日本は上昇し、各国でまちまちの動きとなりました。
- プラスリターンとなった資産は国内株式のみで、先進国株式、国内債券、先進国債券（ヘッジあり）はいずれもマイナスリターンとなりました。国内株式の7-9月の累積リターンはプラス2.38%となりました。

投資対象資産の推移



※期間：2026年6月30日～2026年9月30日（日次）
※2026年6月30日の値を100として指数化。
※各資産の騰落率はコア成長の指定投資信託証券の基準価額騰落率を使用。

※18ページの「ご注意事項」を必ずご確認ください。

Ⅰ　2026年7-9月の投資環境

ちゅうぎんフィナンシャルグループ
中銀アセットマネジメント

	26/6	26/7																				
	30	1	2	3	6	7	8	9	10	13	14	15	16	17	21	22	23	24	27	28	29	30	31
国内株式	100.00	100.32	100.74	100.83	102.07	103.01	102.01	100.61	100.96	101.35	100.63	101.42	102.66	101.17	98.41	100.82	101.27	101.79	100.72	102.10	99.53	99.79	99.25
先進国株式	100.00	100.95	100.64	100.15	100.54	101.43	101.06	100.66	101.24	101.48	101.01	101.34	101.77	101.53	100.41	101.60	101.54	100.89	100.94	101.07	101.28	100.04	99.80
国内債券	100.00	99.60	99.51	99.08	99.14	98.84	98.80	98.54	98.51	99.13	99.10	99.74	99.78	99.54	99.52	99.46	99.40	99.18	98.88	99.11	99.10	99.31	99.05
物価連動国債	100.00	99.90	100.02	99.87	99.96	99.73	99.58	99.63	99.61	99.77	99.88	100.24	100.53	100.63	100.70	100.78	100.83	100.81	100.70	100.87	100.92	100.74	100.74
先進国債券（ヘッジなし）	100.00	100.02	99.73	99.08	99.30	99.65	99.38	99.19	99.18	99.13	99.00	99.17	99.41	99.43	99.25	99.47	99.33	99.54	99.61	99.83	99.97	99.81	98.35
先進国債券（ヘッジあり）	100.00	99.78	99.62	99.62	99.57	99.56	99.27	98.91	99.08	99.11	98.87	98.94	98.98	98.90	98.77	98.65	98.53	98.34	98.49	98.72	98.88	98.60	98.60

	26/7	26/8																					
	31	3	4	5	6	7	10	12	13	14	17	18	19	20	21	24	25	26	27	28	31		
国内株式	99.25	100.53	99.44	99.48	101.60	101.85	102.33	102.97	103.93	104.86	105.39	105.06	103.96	100.75	101.94	102.13	102.28	102.79	103.23	103.38	104.15		
先進国株式	99.80	97.22	99.36	101.06	101.17	101.55	101.84	102.49	102.68	103.23	102.91	102.71	101.96	101.65	101.39	101.69	101.69	102.00	101.95	102.52	102.68		
国内債券	99.05	99.00	98.85	98.79	98.99	99.25	99.05	98.94	98.71	98.59	98.59	98.30	98.17	98.46	98.77	98.56	98.58	98.52	98.56	98.51	98.25		
物価連動国債	100.74	100.63	100.48	100.47	100.59	100.48	100.39	100.31	100.48	100.55	100.56	100.41	100.41	100.56	100.70	100.74	100.74	100.57	100.49	100.31	100.13		
先進国債券（ヘッジなし）	98.35	95.36	96.40	96.81	97.12	97.35	97.18	97.83	97.80	98.05	97.78	97.90	97.77	97.71	98.09	97.82	98.10	98.39	98.27	98.30	98.30		
先進国債券（ヘッジあり）	98.60	98.49	98.67	98.90	98.98	98.81	98.87	98.67	98.67	98.88	98.62	98.47	98.40	98.61	98.51	98.39	98.49	98.79	98.69	98.60	98.40		

	26/8	26/9																					
	31	1	2	3	4	7	8	9	10	11	14	15	16	17	18	24	25	28	29	30			
国内株式	104.15	104.38	105.02	102.51	103.02	103.05	103.61	101.72	101.63	101.82	101.17	101.92	101.38	102.00	102.82	102.75	102.35	103.68	103.26	102.38			
先進国株式	102.68	102.18	101.69	101.04	100.22	100.10	98.70	98.21	97.57	97.49	97.55	97.72	97.71	97.86	98.99	100.47	100.85	100.65	99.77	99.51			
国内債券	98.25	98.20	97.86	97.72	98.06	98.61	98.40	98.67	98.71	98.53	98.19	98.16	97.82	98.03	98.10	98.23	97.66	97.62	97.56	97.59			
物価連動国債	100.13	99.62	99.55	99.50	99.47	99.75	99.70	99.83	99.87	99.83	99.82	99.84	99.75	99.90	99.95	100.18	100.09	100.13	100.01	100.11			
先進国債券（ヘッジなし）	98.30	98.15	98.16	97.14	95.59	95.80	94.38	94.42	94.18	94.16	93.41	93.82	94.14	94.51	94.88	95.05	95.18	94.70	94.17	94.02			
先進国債券（ヘッジあり）	98.40	98.27	98.10	98.01	98.17	98.20	98.12	98.12	97.87	97.41	97.30	97.23	97.15	97.27	97.54	97.01	96.71	96.75	96.49	96.49			

※期間：2026年6月30日～2026年9月30日（日次）
※2026年6月30日の値を100として指数化。
※各資産の騰落率はコア成長の指定投資信託証券の基準価額騰落率を使用。

101以上
100以上101未満
99以上100未満
99未満

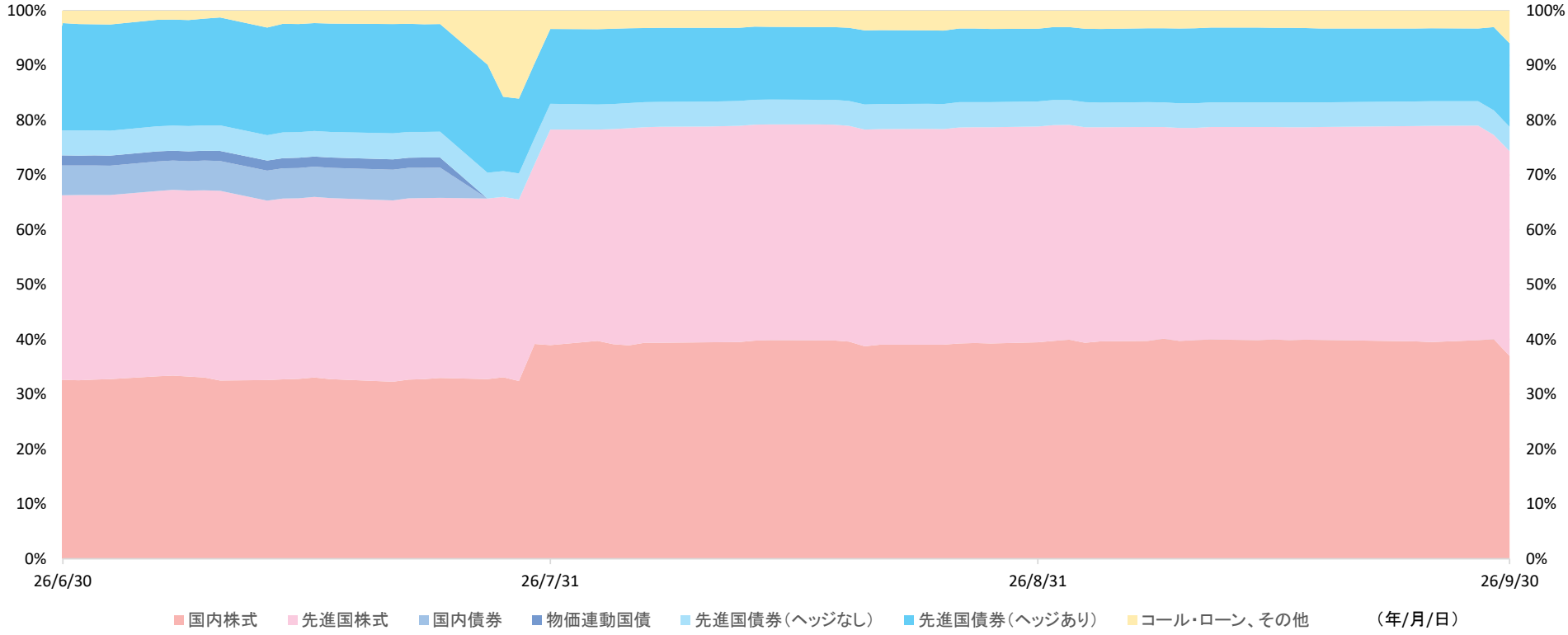
※18ページの「ご注意事項」を必ずご確認ください。

Ⅱ　2026年7-9月の資産配分と基準価額の推移

ちゅうぎんフィナンシャルグループ
中銀アセットマネジメント

- コア成長は、国内株式と先進国株式をそれぞれ最大42.5%まで組み入れることができます。
- 国内株式、先進国株式ともに、期を通じて30%以上の組み入れを維持しました。7月下旬には、それぞれ40%程度まで組み入れを増やしましたが、9月下旬にはやや組み入れを減らしました。その結果、9月末の組み入れは、国内株式が37.0%、先進国株式が37.3%となりました。

コア成長の資産配分推移



※期間：2026年6月30日～2026年9月30日（日次）

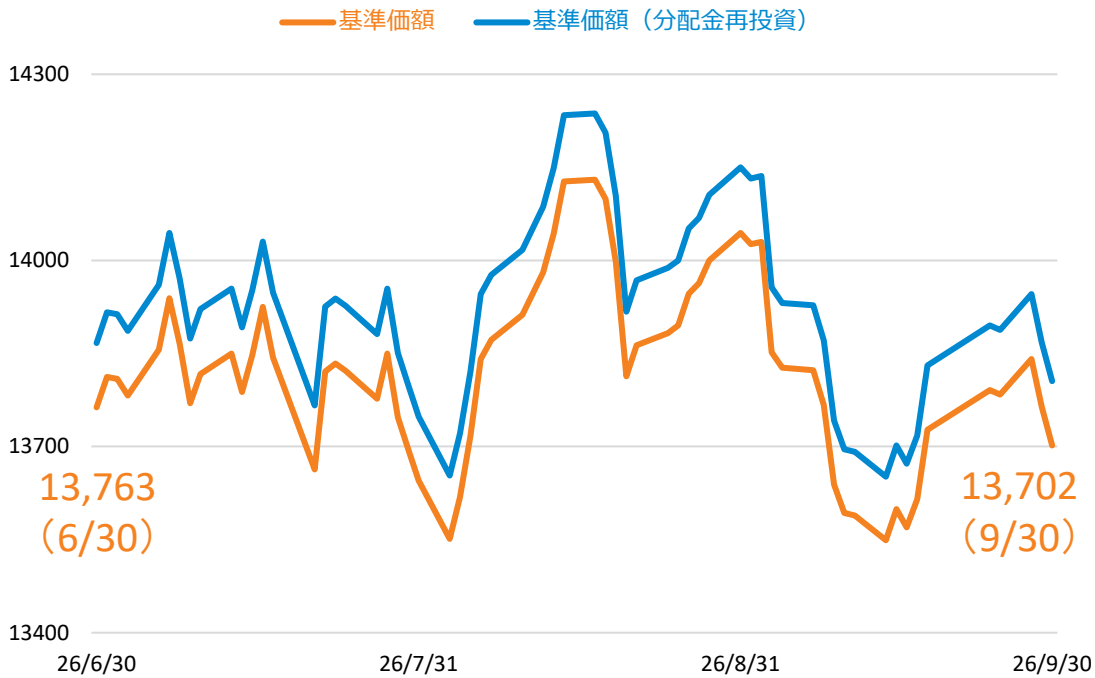
※18ページの「ご注意事項」を必ずご確認ください。

Ⅱ　2026年7-9月の資産配分と基準価額の推移

ちゅうぎんフィナンシャルグループ
中銀アセットマネジメント

- 2026年7-9月のコア成長の基準価額騰落率（分配金再投資）はマイナス0.44%となりました。2026年1-3月以来、2四半期ぶりに四半期の基準価額騰落率がマイナスとなりました。
- 8月は、米国の大手半導体企業が旺盛なAI（人工知能）需要を背景に好決算を発表し、国内株式や先進国株式が反発したことから、基準価額騰落率もプラスとなりました。

コア成長の基準価額推移（単位：円）



	期間騰落率（期間騰落額）
7月	-0.86%（-118円）
8月	+2.92%（+399円）
9月	-2.44%（-342円）
2026年7-9月	-0.44%（-61円）

※期間：2026年6月30日～2026年9月30日（日次）
※基準価額（分配金再投資）と期間騰落率は税引前の分配金を再投資したものとみなして算出。

※18ページの「ご注意事項」を必ずご確認ください。

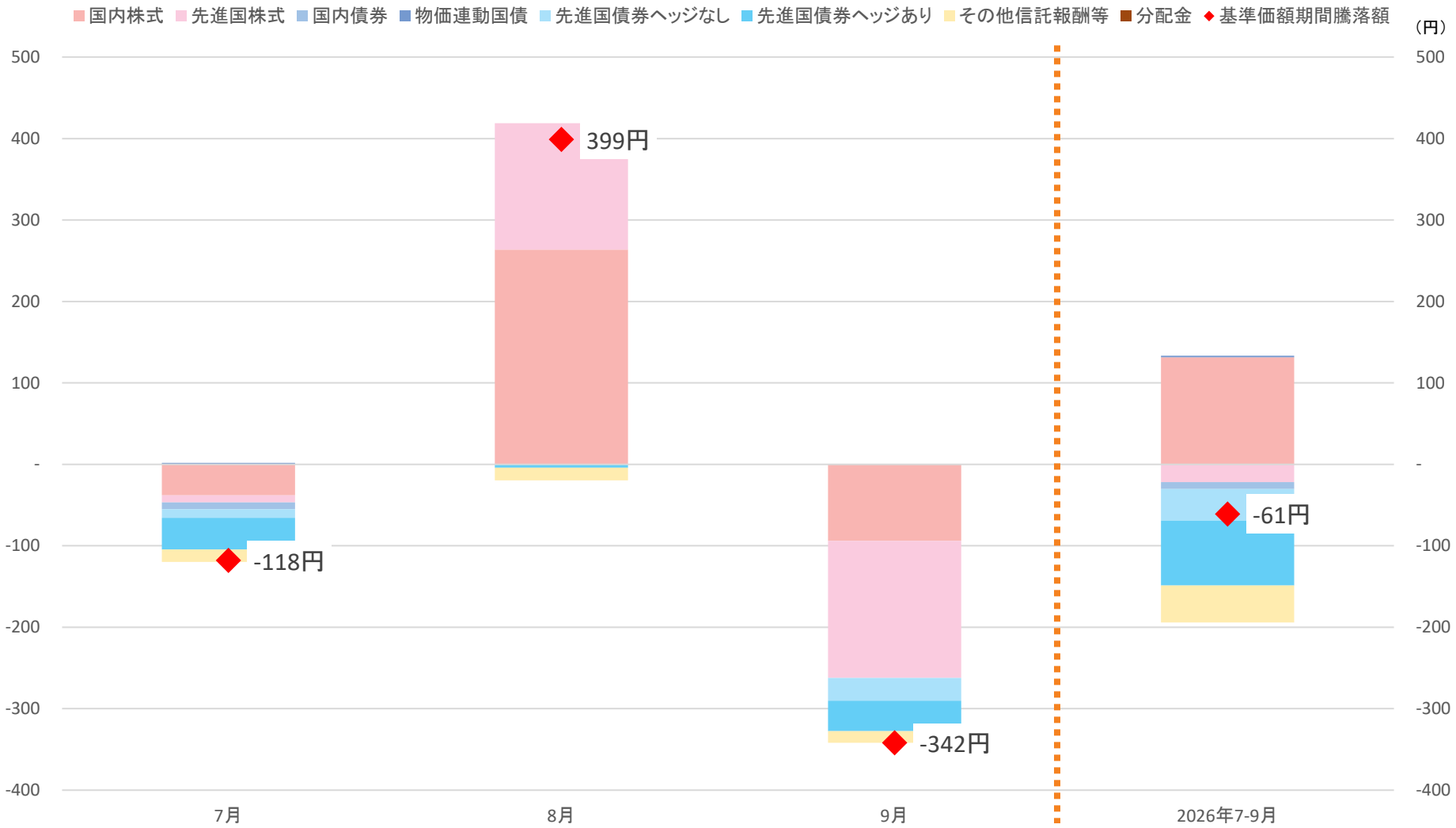
- 2026年7-9月は、先進国債券ヘッジありのマイナス寄与がもっとも大きく、基準価額下落の主な要因となりました。国内株式や物価連動国債はプラスに寄与しましたが、他の資産のマイナス寄与を相殺できませんでした。
- 外国為替市場における円高進行も、先進国株式や先進国債券ヘッジなしにはマイナスに寄与しました。

コア成長の基準価額騰落要因

	国内株式	先進国株式	国内債券	物価連動国債	先進国債券ヘッジなし	先進国債券ヘッジあり	その他信託報酬等	期間騰落額
7月	-38円	-9円	-8円	+2円	-11円	-39円	-16円	-118円
8月	+264円	+155円	―	―	-0円	-4円	-16円	+399円
9月	-94円	-168円	―	―	-28円	-37円	-15円	-342円
2026年7-9月	+131円	-22円	-8円	+2円	-39円	-80円	-45円	-61円

※18ページの「ご注意事項」を必ずご確認ください。

コア成長の基準価額騰落要因



※18ページの「ご注意事項」を必ずご確認ください。

1 国内株式市場や先進国株式市場の上昇が継続すれば、コア成長の基準価額も堅調に推移することが期待できます。

- コア成長の資産配分比率は、2026年9月末時点で、国内株式が37.0%、先進国株式が37.3%となっており、全体の約74%を株式で運用しています。
- 国内株式市場は、一段の金利上昇がなければ、米国のAI（人工知能）関連需要の拡大や高市政権の景気刺激策を背景に、上昇基調が継続すると思われます。先進国株式市場も、中東情勢やエネルギー価格上昇に対する懸念が後退するにつれて、底堅い展開に転じると思われます。
- 国内株式市場や先進国株式市場の上昇が継続すれば、全体の約74%を株式で運用しているため、コア成長の基準価額も堅調に推移することが期待できます。

2 株式市場が軟調な展開に転じても、国内株式や先進国株式の資産配分比率を引き下げ、大幅なパフォーマンス悪化を回避します。

- 株式市場の調整が一定期間継続するなど、投資環境の悪化が続くと判断される場合には、国内株式や先進国株式の資産配分比率を引き下げる仕組みとなっています。
- 2026年9月末時点で、コア成長の国内株式と先進国株式の資産配分比率は、全体の約74%となっていますが、国内株式市場や先進国株式市場の投資環境が大きく悪化したと判断される場合には、国内株式や先進国株式の資産配分比率を最低0%まで引き下げます。

※18ページの「ご注意事項」を必ずご確認ください。

Ⅰ 2026年7-9月の投資環境

- 日本を含めた各国の長期金利は上昇、一方で株式市場は各国でまちまちの動き
- 国内株式の3か月累積リターンが2.38%のプラスとなる一方、国内債券、先進国株式、先進国債券（ヘッジあり）の3か月累積リターンはいずれもマイナス

Ⅱ 2026年7-9月の資産配分と基準価額の推移

- 9月末の組み入れは、国内株式が37.0%、先進国株式が37.3%
- 基準価額は61円の下落、騰落率はマイナス0.44%
- 2026年1-3月以来、2四半期ぶりに四半期の基準価額騰落率がマイナス
- 先進国債券ヘッジありのマイナス寄与がもっとも大きい

Ⅲ 2026年10月以降の見通し

- 株式市場の上昇が継続すれば、コア成長の基準価額も堅調に推移することが期待できる
- 株式市場が軟調な展開に転じても、国内株式や先進国株式の資産配分比率を引き下げ、大幅なパフォーマンスの悪化を回避

※18ページの「ご注意事項」を必ずご確認ください。

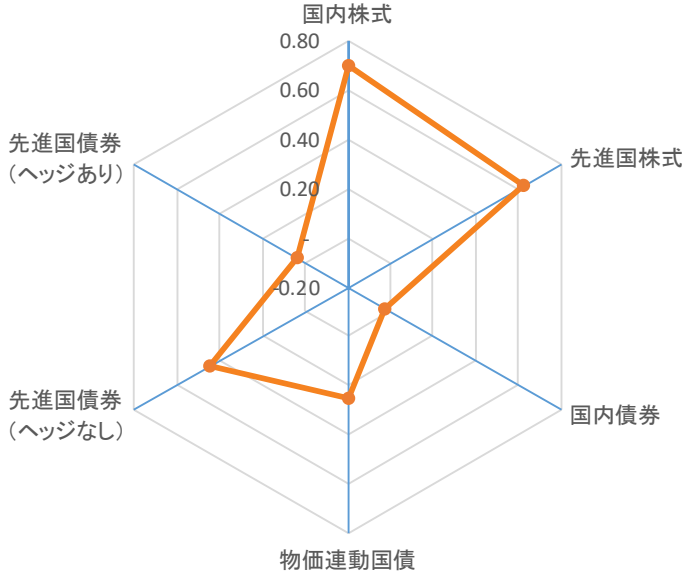
【ご参考】コア成長と投資対象資産の相関について

ちゅうぎんフィナンシャルグループ 中銀アセットマネジメント

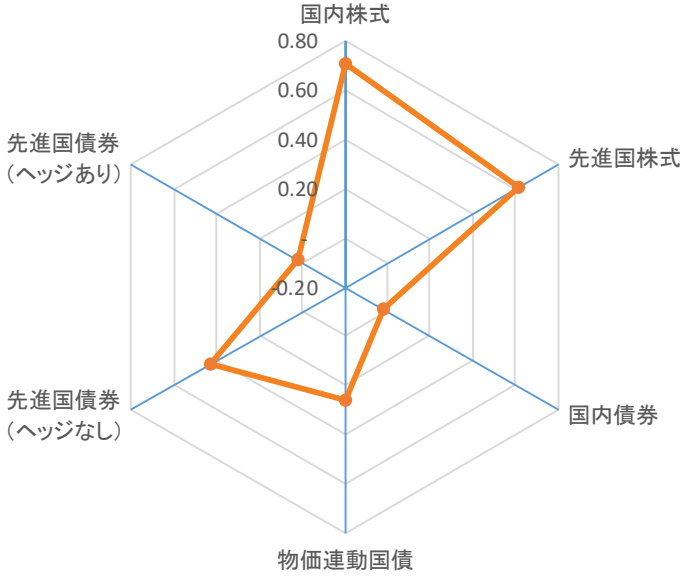
- コア成長とその投資対象である6資産の日次リターンをもとに相関係数（対象期間3年）を算出すると、2026年6月末時点と2026年9月末時点では、大きな差異はありませんでした。
- 特定の資産に大きく偏らない相関が維持されております。

コア成長と各資産の相関

2023年7月3日～2026年6月30日（日次）



2023年10月2日～2026年9月30日（日次）



※上記は、コア成長と各資産間の価格連動性をご理解いただくためのものです。
※各資産の日次リターンにはコア成長の指定投資信託証券の基準価額騰落率を使用しています。

※18ページの「ご注意事項」を必ずご確認ください。

【ご参考】保有期間別パフォーマンスについて

ちゅうぎんフィナンシャルグループ 中銀アセットマネジメント

110以上
108以上110未満
106以上108未満
104以上106未満
102以上104未満
100以上102未満
100未満

コア成長の保有期間別パフォーマンス

（年/月）		2016		2017		2018		2019		2020		2021		2022		2023		2024		2025				2026			
		4	12	3	12	3	12	3	12	3	12	3	12	3	12	3	12	3	12	3	6	9	12	3	6	9	12
2016	4	100.00																									
	12	102.37	100.00																								
2017	3	103.00	100.62	100.00																							
	12	116.20	113.51	112.82	100.00																						
2018	3	109.52	106.98	106.33	94.25	100.00																					
	12	108.63	106.12	105.47	93.49	99.19	100.00																				
2019	3	109.43	106.90	106.24	94.17	99.92	100.74	100.00																			
	12	110.01	107.46	106.81	94.67	100.45	101.27	100.53	100.00																		
2020	3	104.64	102.22	101.59	90.05	95.54	96.33	95.62	95.12	100.00																	
	12	106.85	104.38	103.74	91.95	97.56	98.36	97.64	97.13	102.11	100.00																
2021	3	114.38	111.73	111.05	98.43	104.44	105.29	104.52	103.97	109.31	107.05	100.00															
	12	122.41	119.58	118.84	105.34	111.77	112.69	111.86	111.27	116.98	114.56	107.02	100.00														
2022	3	116.34	113.65	112.95	100.12	106.23	107.10	106.31	105.75	111.18	108.88	101.71	95.04	100.00													
	12	108.49	105.98	105.33	93.36	99.06	99.87	99.14	98.62	103.68	101.53	94.85	88.63	93.25	100.00												
2023	3	109.44	106.91	106.25	94.18	99.93	100.75	100.01	99.48	104.59	102.42	95.68	89.40	94.07	100.88	100.00											
	12	118.00	115.27	114.56	101.55	107.74	108.63	107.83	107.26	112.77	110.44	103.16	96.40	101.43	108.77	107.82	100.00										
2024	3	131.77	128.72	127.93	113.40	120.32	121.30	120.41	119.78	125.93	123.32	115.20	107.65	113.26	121.46	120.40	111.67	100.00									
	12	132.85	129.77	128.98	114.33	121.30	122.30	121.40	120.76	126.96	124.33	116.15	108.53	114.19	122.45	121.39	112.58	100.82	100.00								
2025	3	126.43	123.50	122.75	108.80	115.44	116.39	115.54	114.93	120.82	118.32	110.54	103.28	108.67	116.54	115.52	107.14	95.95	95.17	100.00							
	6	122.65	119.81	119.08	105.55	111.99	112.91	112.08	111.49	117.21	114.79	107.23	100.20	105.42	113.05	112.07	103.94	93.08	92.32	97.01	100.00						
	9	124.50	121.62	120.87	107.14	113.68	114.61	113.77	113.17	118.98	116.52	108.85	101.71	107.01	114.76	113.76	105.51	94.48	93.71	98.47	101.51	100.00					
	12	129.24	126.25	125.48	111.22	118.01	118.97	118.10	117.48	123.51	120.95	112.99	105.58	111.09	119.13	118.09	109.53	98.08	97.28	102.22	105.37	103.81	100.00				
2026	3	127.93	124.97	124.20	110.09	116.81	117.77	116.91	116.29	122.26	119.73	111.85	104.51	109.96	117.92	116.90	108.42	97.09	96.30	101.19	104.30	102.76	98.99	100.00			
	6	138.67	135.46	134.63	119.34	126.62	127.65	126.72	126.05	132.52	129.78	121.24	113.28	119.19	127.82	126.71	117.52	105.24	104.38	109.68	113.06	111.38	107.30	108.40	100.00		
	9	138.06	134.86	134.03	118.81	126.06	127.09	126.16	125.49	131.93	129.21	120.70	112.78	118.67	127.25	126.15	117.00	104.77	103.92	109.20	112.56	110.89	106.82	107.91	99.56	100.00	
	12	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	100.00

表の見方

横軸は保有開始月、縦軸は保有終了月を表しています。

例えば、横軸2016年4月と縦軸2026年9月が交差しているマスは「138.06」となっていますが、これは2016年4月末から2026年9月末までコア成長を保有していたお客さまのパフォーマンスがプラス38.06%（100万円投資していたら138.06万円に増加）であったことを表しています。

※期間は2016年4月末から2026年9月末。
※保有開始月を100としてパフォーマンスを指数化。
※パフォーマンスは税引前の分配金を再投資したものとみなして算出。

※18ページの「ご注意事項」を必ずご確認ください。

ファンドの特色

ちゅうぎんフィナンシャルグループ 中銀アセットマネジメント

ファンドの目的

日本を含む世界各国の株式、債券および短期金融資産を実質的な主要投資対象とし、値上がり益の獲得および利子・配当等収益の確保をめざします。

ファンドの特色

・世界の株式や債券を主な投資対象とし、投資環境の変化に合わせて組入比率を変更する投資信託です。
・指定投資信託証券への投資を通じて、国内および先進国の株式、債券および短期金融資産に実質的な投資を行います。
・国内株式、先進国株式の組入比率を高めることで、株式相場上場局面における株式の値上がり益の獲得をめざすファンドです。
・三菱UFJ信託銀行株式会社の投資助言・情報提供に基づき、中銀アセットマネジメント株式会社が運用を行います。
・各資産の組入比率は以下の範囲で変動します。

<各資産の組入比率>	<安定型>	<成長型>
国内株式	0.0%~12.0%	0.0%~42.5%
先進国株式	0.0%~12.0%	0.0%~42.5%
国内債券	0.0%~51.0%	0.0%~51.0%
先進国債券	0.0% ～ 25.0% （原則25.0%固定とします）	0.0% ～ 25.0% （原則13.0%~25.0%とします）

収益分配方針

・毎年4月23日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき収益分配を行います。
・分配対象額の範囲は、経費等控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。
・収益分配金額は、委託者が分配可能額、基準価額水準、市況動向等を勘案のうえ決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。
・収益の分配に充てなかった留保益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
※将来の収益分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

※18ページの「ご注意事項」を必ずご確認ください。

ファンドの投資リスク

ちゅうぎんフィナンシャルグループ 中銀アセットマネジメント

基準価額の変動要因(詳細については、投資信託説明書（交付目論見書）を必ずご覧ください。)

当ファンドは、実質的に国内外の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組み入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではありません。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者のみなさまに帰属します。

株価変動リスク	**株式の価格は、国内および国際的な政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給関係等の影響を受け変動します。当ファンドが実質的に投資する株式の価格が下落した場合には、その影響を受け、基準価額が下落する要因となります。**
金利変動リスク	**債券の価格は、一般に金利が上昇した場合は下落します。金利は、金融・財政政策・市場の需給等の影響を受け変動します。当ファンドが実質的に投資する債券の価格が下落した場合には、その影響を受け、基準価額が下落する要因となります。**
為替変動リスク	**外貨建資産の価格は、当該外貨の円に対する為替相場の影響を受け変動します。当ファンドが実質的に保有する外貨建資産について、当該外貨の為替相場が円安方向に進んだ場合には当ファンドの基準価額が上昇する要因となり、円高方向に進んだ場合には下落する要因となります。また、実質的に保有する外貨建資産の一部分について、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図る場合がありますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。**
信用リスク	**有価証券等の価格は、その発行体の倒産、財務状況または信用状況の悪化、債務不履行等が発生または予想される場合には、その影響を受け変動します。当ファンドが実質的に保有する有価証券等の発行体にこうした状況が発生または予想される場合には、その影響を受け、基準価額が下落する要因となります。**
流動性リスク	**大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金のお申込みの受付が中止となる可能性、換金代金の支払いが遅延する可能性があります。**
物価変動リスク	**物価連動国債の価格は、金利変動等のほか物価変動の影響を受け変動します。一般に、物価が下落した場合あるいは物価の下落が見込まれる場合には、物価連動国債の価格は下落します。当ファンドが実質的に投資する物価連動国債の価格が下落した場合には、その影響を受け、基準価額が下落する要因となります。**

＊基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※その他の留意点
当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

※リスクの管理体制
- 委託会社では、各種社内規程において、運用に関するリスク管理方針を定め、運用部から独立した部署が、運用の指図について運用の基本方針や法令諸規則等に照らして適切かどうかのモニタリング・検証を通じて、運用リスクの管理を行っております。
- 委託会社では、流動性リスク管理に関する規程を定め、ファンドの組入資産の流動性リスクのモニタリングなどを実施するとともに、緊急時対応策の策定・検証などを行います。
- 取締役会等は、流動性リスク管理の適切な実施の確保や流動性リスク管理態勢について、監督します。

※18ページの「ご注意事項」を必ずご確認ください。

指定投資信託証券とその対象指数（ベンチマーク）について

ちゅうぎんフィナンシャルグループ 中銀アセットマネジメント

投資信託証券名	主要投資対象	運用目標
MUAMインデックスファンドTOPIXi（適格機関投資家限定）	国内株式	東証株価指数（TOPIX）（配当込み）と連動する投資成果をめざして運用を行います。
MUKAM外国株式インデックスファンド２（適格機関投資家限定）	先進国株式 (国内株式を除く)	MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）と連動する投資成果をめざして運用を行います。
MUKAM日本債券インデックスファンド２（適格機関投資家限定）	国内債券	NOMURA-BPI総合インデックスと連動する投資成果をめざして運用を行います。
国内物価連動国債インデックスファンド（適格機関投資家限定）	国内債券(物価連動国債)	NOMURA物価連動国債インデックス（フロアあり）と連動する投資成果をめざして運用を行います。
MUKAM外国債券インデックスファンド２（適格機関投資家限定）	先進国債券(ヘッジなし) (国内債券を除く)	FTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）と連動する投資成果をめざして運用を行います。
MUKAMヘッジ付外国債券インデックスファンド２（適格機関投資家限定）	先進国債券(ヘッジあり) (国内債券を除く)	FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）と連動する投資成果をめざして運用を行います。
マネープールファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）	国内の短期公社債等	安定した収益の確保をめざして安定運用を行います。

（注） 指定投資信託証券は、定性・定量評価等により適宜見直しを行います。この際、指定投資信託証券として指定されていた投資信託証券を指定から外したり、新たに投資信託証券（ファンド設定以降に設定された投資信託証券も含みます。）を指定投資信託証券として指定する場合もあります。

- 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）（以下「TOPIX」といいます。）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。
- MSCIコクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が計算したものです。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
- NOMURA-BPI総合とは、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- NOMURA 物価連動国債インデックス（フロアあり）とは、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が発表している日本国が発行したフロアありの物価連動国債のパフォーマンスインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）は、FTSE世界国債インデックス（除く日本）・データに基づき三菱UFJアセットマネジメント株式会社が計算したものです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。
- FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

※18ページの「ご注意事項」を必ずご確認ください。

お申込みメモ

ちゅうぎんフィナンシャルグループ
中銀アセットマネジメント

詳細については、投資信託説明書（交付目論見書）を必ずご覧ください。

購入単位	販売会社が定める単位とします。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。（基準価額は1万口当たりで表示しています。）
購入代金	お申込みをされた販売会社が定める所定の日時までに購入代金を販売会社に支払うものとします。
換金単位	販売会社が定める単位とします。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して8営業日目からお支払いいたします。
申込締切時間	原則として、午後３時30分までに販売会社が受け付けたものを当日の申込分とします。 なお、販売会社によっては異なる場合がありますので、詳細は販売会社にご確認ください。
申込不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行の休業日、ロンドン証券取引所の休業日、ロンドンの銀行の休業日は、購入・換金のお申込みができません。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求に制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消す場合があります。
信託期間	無期限（2016年4月28日設定）
繰上償還	次のいずれかに該当する場合には、受託会社と合意の上、信託契約を解消し、当該信託を終了する場合があります。 ①一部解約により残存口数が10億口を下回った場合②受益者のために有利であると認めた場合③やむを得ない事情が発生したとき
決算日	毎年4月23日。ただし、決算日が休業日の場合は翌営業日とします。
収益分配	年1回、毎決算日に収益分配方針に基づき、収益分配を行います。（委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。） ・「分配金受取コース」の場合、決算日から起算して原則として5営業日目までにお支払いを開始します。 ・「分配金再投資コース」の場合、税引後、申込手数料なしで自動的に全額が再投資されます。 ※お申込みになる販売会社によっては、どちらか一方のコースのみの取扱いとなります。
公告	委託会社が受益者に対してする公告は、電子公告の方法により行います。
運用報告書	委託会社は、決算時および償還時に、期中の運用経過等を記載した交付運用報告書を作成し、知れている受益者に、販売会社を通じて交付します。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。 当ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 益金不算入制度、配当控除の適用はありません。 ※税法が改正された場合等には、上記の内容が変更されることがあります。

※購入、換金の各お申込みの方法ならびに単位、分配金のお取扱い等について、販売会社によっては上記と異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

※18ページの「ご注意事項」を必ずご確認ください。

お客さまにご負担いただく費用について

ちゅうぎんフィナンシャルグループ 中銀アセットマネジメント

以下の手数料等の合計額等については、保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。
詳細については、投資信託説明書（交付目論見書）を必ずご覧ください。

■投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

■投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）

ファンド

純資産総額に対して、それぞれ以下の率を乗じて得た額

信託報酬＝運用期間中の基準価額×信託報酬率

	信託報酬率
＜安定型＞	年率1.067%（税抜0.97%）
＜成長型＞	年率1.342%（税抜1.22%）

支払先	配分（年率/税抜）		役務の内容
	＜安定型＞	＜成長型＞	
委託会社	0.44%	0.55%	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
販売会社	0.50%	0.64%	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンド管理、購入後の情報提供等の対価
受託会社	0.03%	0.03%	運用財産の管理、委託会社からの運用指図の実行の対価

※運用管理費用（信託報酬）は毎日計上（ファンドの基準価額に反映）され、毎計算期間の最初の６ヵ月終了日および毎計算期間末または信託終了のときファンドから支払われます。

投資対象とする投資信託証券

純資産総額に対して、それぞれ以下の率を乗じて得た額

＜安定型＞	最大年率0.143%（税込）程度
＜成長型＞	最大年率0.154%（税込）程度

実質的な負担

純資産総額に対して、それぞれ以下の率を乗じて得た額

＜安定型＞	最大年率1.210%（税込）程度
＜成長型＞	最大年率1.496%（税込）程度

※上記は、ファンドの信託報酬率と投資対象とする投資信託証券の信託報酬率を合わせた実質的な信託報酬率です。
この値はあくまでも目安であり、ファンドの実際の投資信託証券の組入状況により変動します。

その他費用・手数料

監査費用、組入有価証券等の売買委託手数料、信託事務の諸費用等がファンドから支払われます。
（監査費用 ：ファンドの純資産総額 × 年率 0.0055% (税抜0.005%) ）
※監査費用を除く上記の費用・手数料等については、運用状況、保有期間等により変動するため、事前に料率、上限額等を示す事ができません。

※当該費用の合計額、その上限額および計算方法は運用状況および受益者の保有期間等により異なるため、事前に記載することができません。

※18ページの「ご注意事項」を必ずご確認ください。

ご注意事項等

委託会社、その他関係法人の概要

委託会社	中銀アセットマネジメント株式会社（金融商品取引業者　中国財務局長（金商）第10号）
	一般社団法人資産運用業協会　会員
	信託財産の運用指図、目論見書および運用報告書の作成等を行います。
受託会社	三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社（再信託受託会社：日本マスタートラスト信託銀行株式会社）
	追加信託に係る振替機関への通知等、信託財産の保管・管理・計算等を行います。
販売会社	ファンドの募集の取扱い・販売、目論見書・運用報告書の交付、一部解約の請求の受付、収益分配金、償還金および一部解約金の支払い等を行います。

商号	登録番号等		加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人資産運用業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
中銀証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長（金商）第6号	○			○
株式会社中国銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第2号	○		○	

（50音順）

ご注意事項

- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金に加入しておりません。投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）等の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は、当ファンドの運用状況をお知らせするために中銀アセットマネジメントが作成した資料です。当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 当資料中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差を生じることがあります。
- 市況動向および資金動向等により、ファンドの基本方針通りの運用が行えない場合があります。
- 当資料は、特定銘柄の売買などの推奨、または価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。